

## 設置から58年

## 秩父地域の公共職業能力開発施設

## 熊谷高等技術専門校 秩父分校

設置・運営 ● 埼玉県  
所在地 ● 埼玉県秩父市上町3-21-7  
訓練課程 ● 普通課程 電気設備管理科  
短期課程 介護サービス科  
訓練期間 ● 普通課程 1年  
短期課程 6カ月



## 旧秩父高等技術専門校

埼玉県立の公共職業能力開発施設は、中央・川口（本誌2012年秋季号参照）・川越・熊谷・秩父分校・春日部の高等技術専門校と職業能力開発センターの7校体制である。熊谷高等技術専門校秩父分校は、秩父地域の人材確保・育成の拠点として公共職業訓練と企業支援を体系的に実施している。

元々は昭和36年に埼玉県秩父職業訓練所として設置され、以来、埼玉県立秩父専修訓練校、埼玉県立秩父高等技術専門校と名称変更を経て、平成21年4月に熊谷高等技術専門校と統合し、現校名となった。

西武鉄道・西武秩父駅、秩父鉄道・御花畑駅から徒歩16分の場所にあり、武甲山の麓の風光明媚な土地で、広々とした施設の中で訓練を実施している。

## 訓練校の理念

同校の理念について、副校長の加藤隆志氏は「技術革新の進展が著しい産業界では、高度な知識、技術を身につけ、豊かな人間性と社会性を持ち合わせた人物を求めています。当校では、職業能力開発促進法に基づく職業訓練の実施と並行して生活指導にも重点を置き、積極性・協調性のある人づくりを目指しています。責任感が強く、情豊かな、職場で信頼される技能者の育成に努めています」と語る。

訓練科は、求職者、離転職者向けに、電気設備管理科と介護サービス科の2

科を設置している。

「熊谷本校は自動車整備科・建築科・機械科の3科設置なので、すみ分けができています」

在職者訓練の技能講習も盛んに行われており、平成30年度、技能向上訓練は16講座、オーダーメイド型技能講習は6講座行われた。

## 教育訓練の特長・取得できる資格

電気設備管理科は、建物の受電設備からコンセント回路まで、電気工事に関する知識・技能を習得し、第二種電気工事士の資格取得を目指している。また、空調設備に関する知識・技能や、防犯設備や消防設備などの建物の安全管理に関する設備の習得も目的としている。

「現在、太陽光発電システムが広く普及しています。施設としての導入や原理、仕組みを学習して、施工技術・技能及び電気系統、建築システムのメンテナンス技術の習得にも取り組んでいます。また、電設工業展等への参加も積極的にを行い、電気設備工業界の最新技術の情報収集も行っています」

介護サービス科は、高齢者や身体障害者の心身の状態を理解し、健康・医療・福祉制度や政策を習得し、幅広い社会常識を養うことを目的としている。実務者研修課程に必要な対人理解・対人援助の基本的な視点と理念、職業人としての姿勢・知識・技術を一体的に習得する。

「当校は介護福祉士実務者養成施設

の認定を受けており、将来、施設の中心となって活躍する人材を育成しています。おかげさまで修了生の評判は非常に良く、週に一度「良い訓練生はいませんか」とコンタクトしてくる施設の採用担当の方もいます」

資格は、「電気設備管理科」では、在校中に安全衛生特別教育修了証（アーク溶接）が取得できる。目指せる資格は第一種・第二種電気工事士等があり、課程修了（技能照査試験合格）により技能士補の称号が与えられる。

また「介護サービス科」では、訓練修了者に実務者研修修了証が与えられ、目指せる資格には介護福祉士等がある。

## 入校希望者へのメッセージ

「ここでは、教科書だけでなく先生の実体験を交えた授業で実践的に学ぶことができ、仲間たちと成長を実感する毎日です。介護職は多くの人と触れ合える魅力的な仕事です。当校で学んで『あなたなら』と言われる介護福祉士を目指せます。」（介護サービス科訓練生 倉林さおりさん）

「当校で学ばれている方は、社会人経験が豊富で、第2・第3のキャリアを求めてスキルを身につけようとしている方、親が介護職で働いていて自分も働きたいと志願してくる方等、様々なサポートしますので、早期就職を目指している方の入校をお待ちしています」（加藤副校長）